

体感。感動。感謝。NBUのCOC事業をお伝えします。

文部科学省  
地(知)の拠点



日本文理大学COC事業

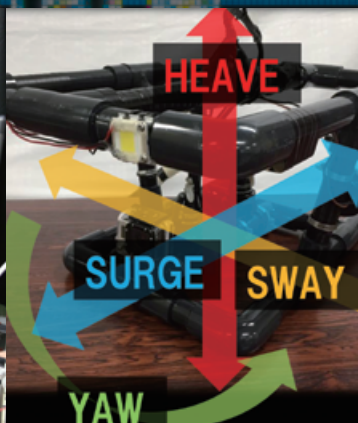
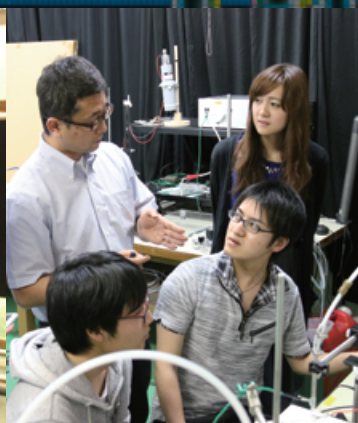
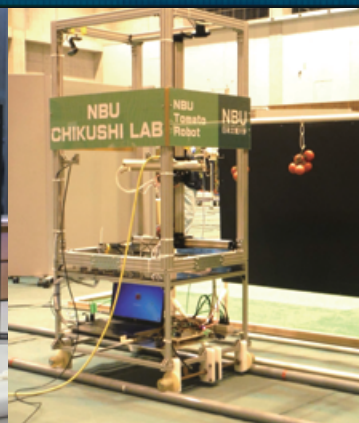
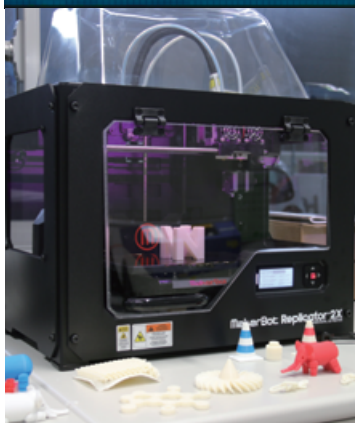
おおいた、つくりびと

# coc-nbu.jp

June 2016 Nippon Bunri University, COC MAGAZINE

## 大分の明日を支える 先進的なものづくり

NBU工学部が目指すもの、  
それは暮らしに役立つ先進的なものづくり。  
今はまだ夢のようなアイデアでも、  
コツコツ努力を続ければ、きっと…  
いつの日にか「現実」になる。



No. 07



# キラリびと

『おおいた、つくりびと』で活躍する学生、  
教職員、地域の皆さんにインタビュー。

## 07



工学部 機械電気工学科4年

**福田 湧也**

**Q.** 稲川研究室に入ろうと思った  
きっかけを教えてください。

**A.** 大学3年の頃、稲川研究室の3Dプリンタ講習会に出て、その可能性に興味を持ちました。最初は簡単に3D化できると思っていたのですが、CADソフトから始まり、3つのソフトを使いこなさなくてはいけないと知り、これは大変だなあと。でも、同時にやりがいも感じました。稲川研究室に入ってから、水中カメラのモーター制作にも携わりました。制御系、基本構造、プログラム、回路など、たくさんの人が関わるものづくりの現場に立ち会えて、すごく刺激をもらいましたね。

**Q.** これからチャレンジしてみたいことは  
ありますか？

**A.** 災害の現場や映像作品などで最近、注目を集めている「ドローン」をゼロから作ってみた

いです。プログラムもシステム設計も、CADも全部やる。操縦も自分でしたいので、パソコンのシミュレーションソフトでトレーニングしています。今はまだ結構、墜落していますが…(笑)。将来は、大分県の特産品である竹でオリジナルのドローンを作りたいですね。ハードもソフトも全て自分ひとりでこなせるエンジニアを目指して、研究室のメンバーと一緒に切磋琢磨していきます。

and more...



### PICK UP! COCプロジェクト

2016.05.09 **初夏の風物詩「どんこ釣り大会」に新しい風が吹く!**

豊後大野プロジェクト「どんこ釣り大会」

「こっちにおいで。この辺りがよく釣れるよ」「ミミズさんがくすぐったいって…くねくねしてるね」と、童謡を唄うように餌つけの指導をしている学生の姿がところどころに見える。そして、今年初の試みは「幼児対象の釣りゲームコーナー」。川に入っている子どもたちの弟や妹にも楽しんでもらい、家族全員が退屈しないようにと気を配る学生。実は、“ミミズが苦手な女子学生”から生まれた企画。新入生がプロジェクトに入ることで、またひとつアイデアが湧く。人と人が触れ合うことで、様々な形で思い出が増えていく。「来

年も豊後大野に来ようと思えるようなイベントにしたい」という共通の想いは、イベントが終わる頃には「来年もみんなに会いたい」に変わった。

豊後大野の青空にはどんこが風に舞いながら「過疎化が進んだ地域にだってできることがある!それは、出会いの場をつくり、新しい風を吹かせること!」と叫んでいる。

まだまだあります!  
大分県内をステージに進行中の  
プロジェクトが盛りだくさん。

- 森林ボランティアで学んだこと
- カボス農場で感じる“特産品”の魅力
- 丹誠込めて育てた甘太くんへの愛情

etc...

くわしくはNBUのCOC特設サイト **coc-nbu.jp** へ